

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校 長 出口 和宏
学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校学校評議員会

2 会議の構成 委 員 今井 正聰 株式会社サン・シング東海 常務取締役（ご欠席）
岩越 康真 あじろ診療所副院長・ひめゆり療育センター副センター長
岡崎 良高 本巣市障がい者就労支援センターみつば所長
縄田 栄子 本巣市本巣民生児童委員
早川 隆雄 西秋沢地区自治会長

（委員名は五十音順）

学校側	井後さとみ	PTA会長	阪之下弘則	小学部主事
	出口 和宏	校長	中村 真章	中学部主事
	丸山 忠	事務長	小野島弥生	高等部主事
	西村三紀郎	教頭	駒田 武彦	教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成26年1月16日（木）午前9時30分～11時30分
場 所：岐阜本巣特別支援学校校長室
出席者： 委員4人、学校側8人

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

- ・本年度も、後2ヶ月あまりとなりました。まとめの時期となり、特に高等部3年生の進路決定に向けて全力で取り組んでおります。この後、本校の自己評価等について説明いたしますが、忌憚のないご意見をいただき、次年度へ生かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 全体会議

自己評価について説明

1) 学校評価に関わるアンケート集計結果について（教頭より資料をもとに説明）

○保護者・学校評議員へのアンケートについて

全項目を通じて高い評価を例年得ているが、「その他の項目」や「学校独自項目」に関しては、高い評価項目が少なく、今後も広報活動を充実し、開かれた学校を目指していく必要がある。また、「体罰防止」「いじめや差別を許さない」や「地域支援センターの機能」については、「わからない」の割合が高く、授業公開や懇談会等を通して、さらに情報提供の機会を設定していく必要がある。

○高等部生徒へのアンケートについて

質問方法を理解しやすいように工夫したため、「わからない」の回答が大幅に減少し、25項目が昨年度より改善された。ただし、保護者及び学校評議員と比較すると評価が低いため、児童生徒の満足度を高める取り組みが必要であり、日頃の教育活動の改善に努めなければならない。

2) 各分掌の自己評価について(教務主任、各部主事より資料をもとに説明:項目のみ記載)

①教務部 ②学習支援部 ③生活支援部 ④健康安全部 ⑤進路支援部 ⑥渉外部 ⑦支援センター部

3) 第1回評議員会での要望について(事務長より説明)

「県道167号線沿いにある本校の看板について、右折時に見にくいいため移動して欲しい」の件について、岐阜北警察署及び岐阜土木事務所に問い合わせを行った。移動は難しく、L字型看板も高額で現状では難しいため、東海環状自動車道建設時の課題としてあげてはどうかという助言をいただいた。

4) 平成25年度の取り組みについて(校長より説明)

①「校長と語る会」を本年度2回実施し、例年より1回増やした。7月に出されたご意見等への対応状況を2月に報告し、次年度へ生かしていく予定である。

②9月の特別支援学校の不幸な事故を受け、早急に防災に関するマニュアル等を作成し、また保護者に依頼して、防災グッズの学校常備等を行った。

③東体育館の改修工事が2月上旬に完了する。

質疑応答

意見1 : 第1回評議員会での要望(看板の移動)について、了解した。そのように進めて欲しい。

意見2 : アンケート評価項目は統一されたものか。

学校側 : 県内統一されたものであるが、学校独自項目は各校独自に作成している。

意見3 : もう1回アンケートを取ると、比較しながら次年度に反映されていくのではないか。

学校側 : 提出期限もあるが、検討していきたい。

意見4 : 部活動にパソコン部を新設してはどうかという意見がある。

学校側 : 担当分掌(生活支援部)を中心に検討していきたい。

意見5 : 卒業後の追指導の期間はどのぐらいか。

学校側 : 3年間と考えている。

意見6 : 5年以上で離職するケースもあるので、相談できる機関の情報も提供していただきたい。

学校側 : 情報の提供を随時行っていきたい。

意見7 : 防災に関するマニュアル作成等、早急に対応していただきありがたい。PTAとしても協力していきたい。

学校側 : 自力通学生には、職員が付き添って通学経路・危険箇所・避難場所等の確認を行い、地図の作成を行った。今後も保護者の方のご協力をいただきたい。

意見8 : 同窓会活動について在校生(保護者)には分からないことが多いので情報を提供して欲しい。

学校側 : PTAだより等で情報を提供していきたい。

意見9 : 主治医の指導書により、児童・生徒が服用する薬は保健室で管理しているのか。

学校側 : 劇薬に関してはマニュアルを作成し、保健室の鍵のかかる棚で管理している。

意見10 : 下校時のスクールバスの経路を岐阜バスと同じく、校門から西へ向かう経路に変更していただきたい。

学校側 : 担当分掌(生活支援部)を中心に検討していきたい。

意見11 : 保護者向けの進路説明会は高等部中心に行われているが、小・中の保護者も関心をもっており、参加の機会を設定して欲しい。(PTAとの合同でもよい)

学校側 : 担当分掌(進路支援部)を中心に検討していきたい。

平成26年度に向けて（校長より説明）

- 1) 防災に関して、マニュアル・体制等の見直しを行い、訓練内容も含めた改善をしていきたい。
- 2) 次年度より、居住地の小・中学校に「交流籍」を置くことになり、インクルーシブ教育に向けての取り組み（居住地校交流等）を推進していきたい。
- 3) 次年度11月に「学校体育研究大会岐阜大会（特別支援学校）」が開催される。発表に向けての取り組みを生かして、職員の専門性の向上を図っていきたい。

高等部作業製品の価格について（高等部主事より説明）

- ・新規3製品の価格（案）と価格変更1製品（案）を、実際の製品を見ていただきながら、価格検討をお願いした。

意見1： ブックカバーは売れますか。

学校側： 織物で大量生産ができないため、現在は注文販売の形であり、在庫はほとんどない。また、端の始末を丁寧に行っていききたい。

意見2： スタイの内側に防水生地等を入れてはどうか。

学校側： いろいろな意見をうかがい、検討していきたい。

学校側： 価格はこれでお認めいただけるか。

※全員意義なく、価格については妥当であると認めていただいた。

連絡

その他の資料として、「高等部3年生徒進路状況」「進路だより」「第2回就業体験先一覧」「ゆめだより」「本校が記載された新聞記事」がありますので、是非ご覧ください。

6 会議のまとめ

本日はご多忙の中、ご出席いただきありがとうございました。また、この会でいただいた貴重なご意見を参考として、学校改善に努めていきたいと存じます。

授業・施設を見学

- ・高等部作業学習食品加工班の café 和 の見学